

平成 24 年度第○回採用分
外国人特別研究員（一般）
申請書
第○版

審査領域		受付番号
分科		
細目		
分科細目コード		

「総合領域」または「複合新領域」を選択した場合は、分科細目コード（一覧）を参照。

【申請者（受入研究者）】

1. 氏名	(漢字等)			押印不要
	(ローマ字)(姓)	(名)		
	(フリガナ)			
2. 所属機関名	(コード)	(和文)	全角カタカナ	
		(英文)	で記入。	
3. 部局名	(コード)	(和文)		
		(英文)		常勤研究者のみ申請可能（非常勤の職、助教、助手は申請できない）
4. 職名	(和文)			
		(英文)		
5. 科学研究費補助金研究者番号			8ケタ	
6. 所属機関部局所在地	〒	(住所)		
	電話番号:		FAX番号:	
	e-mail:			
7. 研究課題名	(和文)			第1回の場合：研究開始日が 2012/4/1～9/30
	(英文)			第2回の場合：研究開始日が 2012/9/1～11/30
8. 招へいを希望する期間	(西暦)	年 月 日 ~ (西暦)	年 月	採用期間が 12～24 ヶ月（月単位）

【外国人特別研究員候補者】

9. 氏名	(英文)	(FAMILY)	(First)	(Middle)
10. 国籍	(国及び地域名コード)			
11. 生年月日	(西暦)	年	日生	12. 性別
13. 所属機関名	(和文)			
14. 採用された場合に「採用通知書」が届く住所となるので注意（アルファベット）				候補者氏名の記入例 (FAMILY) (First) (Middle) J S P S George Philip (アルファベットで記入, FAMILY Name は全て大文字。)
15. (半角英数字)で記入。				
16. 機関所在国	(国及び地域名コード)			
17. 確実に連絡が取れる番号 1, 2を必ず記入。	(西暦)	年 月 日	取得	取得見込
18. 連絡先	〒	(住所)		
	電話番号 1:			
	電話番号 2:			
	e-mail:			
19. 推薦者名	(漢字等)			
	(フリガナ)			
20. 推薦者所属機関名	(コード)			

【重要】

- 取得済みの場合：2012/4/1 の時点で学位取得 6 年未満（2006/4/2 以降）に学位取得であることを確認すること。
- 取得見込の場合：採用された場合は、研究開始日までに学位を取得すること。

●いずれも、採用後に学位取得証明書または学位記（写）を、受入機関事務をおし提出すること。（申請時に学位取得証明書または学位記（写）の提出は不要）

【外国人特別研究員（氏名：

）の研究の独創性と特筆すべき業績】

【外国人特別研究員と共同して行う研究の概要と意義】

【外国人特別研究員と受入研究者（氏名： ）との関係】

以下の項目について、該当する箇所に、チェック 願います。

複数回答可

1. 外国人特別研究員候補者との関係

- 直接の面識がある。
 - 現在、継続的に共同研究を行っている。
 - 以前、共同研究を行ったことがある。
 - 研究室訪問、学会、シンポジウム等で知り合った。
 - その他（

（補足説明）

面識がある場合は、記入不要。

- 直接の面識はない。
 - メール等で継続的に研究成果等のやり取りをしている。
 - 共同研究者等から紹介された。
 - 申請者が候補者の研究を知り、連絡を取った。
 - 候補者が申請者の研究を知り、連絡を取ってきた。
 - その他（

（補足説明）

過去5年間に採択された学振の国際交流事業と今回の申請に密接な関係がある場合、補足説明欄にその旨を明記すること。

記入例：

- ・現在外国人特別研究員（欧米短期）事業で受け入れており、目覚ましい成果を上げているため当該分野の発展が見込まれる
- ・直接の面識は無いが、二国間交流事業を通じて親しくなった研究者から優秀な若手研究者がいると強い推薦を受けた
- ・招へい候補者は先端研究拠点事業による相手側研究者の研究室で研究に従事しているが、今回外国人特別研究員として招へいすることにより、共同研究の成果を踏まえた更なる研究の発展が期待できる

2. 研究計画等に関する事前交渉の状況

- 十分行われている。
- ある程度行われている。
- これから行う予定。

2-1. 研究計画等に関する事前交渉の状況を具体的に記入願います。

【外国人特別研究員の受入体制】

1. 受入研究機関の支援体制

- (1) 外国人特別研究員に与える身分または名称等（ ）
 - (2) 図書館等の機関内施設の便宜を 与える 与えない
 - (3) 研究室内で場所を与えることが できる できない
 - (4) その他機関内での処遇便宜供与 ある ない
- （国際関係部局等機関における支援体制がある場合は、名称及び支援内容について記入してください。）

2. 研究室内でのコミュニケーション

- (1) 研究室内で若手研究者とのコミュニケーションや交流ができる。 5 4 3 2 1
（上記の該当する数字に○をしてください。5：十分できる... 1：できない。）
- (2) ミーティング等の状況（研究室内の定期的なミーティングが英語で実施されているなど）の特徴的な取組みについて記載してください。

複数の候補者を申請している場合、必ず記入すること。

3. 宿泊施設の見通し

- ない
- ある（

【優先順位】 今回の申請において複数の候補者を申請している場合、本候補者の順位を付すこと。

候補者 名のうち第 位

人権の保護及び法令等の遵守への対応（募集要項項目10参照）

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、患者から提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

①該当あり（ ） 該当がある場合には左記にチェックの上、対応を下記に記入してください。

②該当なし（ ） 該当がない場合には左記にチェックをしてください。

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE (JSPS)

APPLICATION FOR JSPS POSTDOCTORAL FELLOWSHIP APPLICANTS

<This form should be attached to FORM 1 prepared by your proposed Japanese sponsor>

様式 1 と異なる記載がないように、必ず確認すること。

Handwritten or printed. >

1. Name in Full				
FAMILY		First	Middle	
2. Date of Birth:			3. Nationality	
Day / Month / Year				
4. Current Appointment and/or Status				
5. Academic Degree				
Type (PhD, etc)		Date Obtained / /		
Field		<input type="checkbox"/> Expected Day Month Year		
Institute		(Country)		
6. Higher Education (Start from the latest one)				
Name of University / Institution	Location	Degree	Field	Completion Date (Month, Year)
<div data-bbox="430 963 662 1086" data-label="Text"> <p>新しいものから 順番に記入する</p> </div>				
7. Previous Employment (Start from the latest one)				
Name of Institution	Location	Position	From - To	
<div data-bbox="438 1467 670 1590" data-label="Text"> <p>新しいものから 順番に記入する</p> </div>				
8. Awards (Please indicate title, organization and year.)				

【重要】

- ・外国人特別研究員候補者本人がこの申請書を作成すること。
- ・英語または日本語で作成すること。
- ・必ず 2012 年度の様式を使用すること。
- ・様式を改変しないこと。
- ・この申請は電子申請ではありません。記入した様式をプリンターで印刷してください。必ず、用紙の両面に印刷するか、または片面に印刷した様式を別の用紙の両面に複写し、合計 3 枚（6 頁）となるようにしてください。最後に、F6 頁下の署名欄に自筆でサインを記入し、受入研究者に提出してください。その際、FAX や電子メールによる送付は認められません。

【重要】

要点をまとめ、様式の枠内に記入し、必ず1頁以内に収めること。

10. List of Major Publications

Authors (all), title, Journal, Vol. , No , pp. - , Month, Year

【重要】

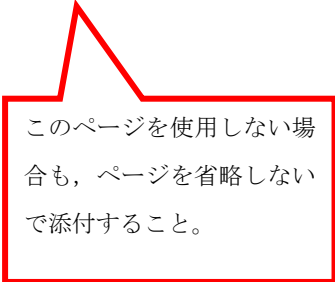
様式の枠内に記入し、必ず
1 頁以内に収めること。

11. Research Plan in Japan

- a. Present research related to research plan
- b. Purpose of proposed research
- c. Proposed plan
- d. Expected results and impacts

【重要】

要点をまとめ、様式の枠内に記入し、必ず2頁以内に

A red callout box with a triangular pointer pointing upwards, containing Japanese text.

このページを使用しない場合も、ページを省略しないで添付すること。

12. Language Ability (5: excellent1: poor)				
	Reading	Writing	Hearing	Speaking
Japanese	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
English	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1

13. Past Stay(s) in Japan

Place: _____ Year: _____ Purpose: _____

14. Name(s) of other fellow _____

15. Mailing address

a. Office: _____ b. Home: _____

Tel: _____ Tel: _____
 Fax: _____ Fax: _____
 e-mail _____ e-mail _____

16. If you have been previously awarded as a JSPS fellowship or participated in another JSPS research program, please indicate the name of the program and the period of your participation.

I have been awarded a fellowship under the JSPS Postdoctoral Fellowship Program for North American and European Researchers for the period of (Day / Month / Year) to (Day / Month / Year).

I have been awarded a fellowship under the JSPS Summer Program in (Year).

Other Program
 Name of the program: _____
 Period of participation: _____

1 から 5 までの数字の中から該当すると考えられるものに○を付けること。英語と日本語の語学力は必ず記入し、その他の言語については任意で記入すること。

I certify the above information to be accurate and correct.

Date: _____

NAME (Print): _____

Signature: _____

【重要】

- 必ず用紙が3枚（6頁）であることを確認した後に**自筆でサイン**すること。
- 必ずサインが記入された正本を提出すること。

(Notes)

- Please sign this form and forward it to your proposed host researcher in Japan. Do not send it directly to JSPS.
- The following documents must be attached:
 - A letter of reference/recommendation from your current or previous supervisor (not from proposed Japanese host researcher).